



学校だより

けやき

十和田市立北園小学校
2月号(430号)
令和6年1月31日発行
文責：教頭(一戸)
電話：23-4361

「苦手な教科と得意な教科、嫌いな教科と好きな教科」

校長 繁在家康文

新年早々に能登半島地震による被災者の受けた方々にお見舞い申し上げます。

さて、冬休みを利用し、台湾の北成國民小學との交流のため、代表の子供たち24名と教員・保護者等総勢39名で台湾に行き参りました。3泊4日という短い時間ではありましたが、子供たちが出会いの喜びと見聞の驚きを全身で感じた様子が手に取るように分かりました。20年以上続いている交流が、今後も続くことを願っています。

そして、後期後半が始まりました。冬休み中に頑張った宿題を持って学校に子供たちが戻ってきました。大きなけがや病気の報告もなく元気な姿に安心しています。

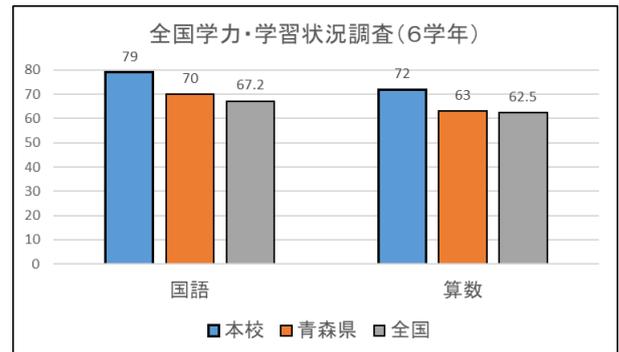
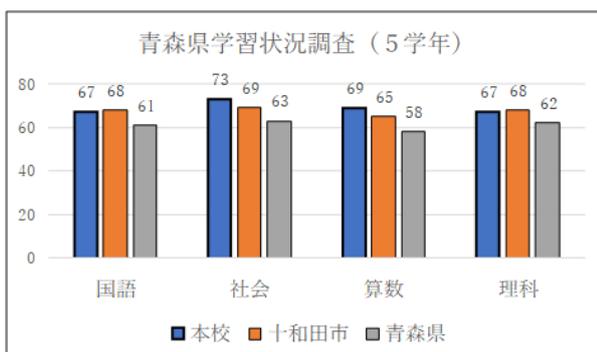
冬休みの宿題では、学校からのプリントを配布しないことにしました。3年生以上は、自主学習(以下「自学」)ノートに「自分で考えて、決めて、行動する」を実践するように投げかけました。簡単に言えば、何を勉強するのか、何ページ取り組むのかを自分で決めて取り組むということです。自分で決めるので、取組の結果に差が出るのは当然のことです。決してそれが悪いということではありません。同じ1ページでも、取り組む時間や内容、考え方などで1ページの重みも変わってくるでしょう。大事なことは、自分で考えて、決めて、実行することです。

子供たちの自学の取組状況を見ると、3年生から6年生まで300人中、「3ページ」と決めてやってきた人が一番多く42人。次に「5ページ」が38人。「4ページ」と「6ページ」がそれぞれ30人でした。最高ページ数は、5年生で68ページ、次いで4年生の61ページでした。内容は、得意な教科であったり苦手な教科であったり様々です。

得意な教科は何ですかと聞いてそのわけを聞くと、〇〇が好きだからという言葉が返ってくる人が多いです。逆に、苦手な教科を聴くと、△△が分からないから嫌いという言葉が返ってきます。苦手な教科に取り組むには、分かるところを増やすことが大切であると考えています。例えば、漢字が苦手だったら、なぜこれを□□と読むのかな、似ている漢字がどんな意味を表すのかな、などと考えると、違う漢字もつながって分かるようになることがあります。分かったことや面白いと思ったことをノートにまとめていくことが、嫌いを好きにし、苦手意識を少しでも減らすことにつながります。

以下は、今年度行われた青森県学習状況調査(5年)と全国学力・学習状況調査(6年)の結果です。どちらの学年も県及び全国の通過率を上回っていることはうれしいことですが、一人一人を見れば好き嫌いや苦手と得意は必ずあるはずで、これから先、自分の夢を叶える力を蓄えるためにも、是非「自分で考えて、決めて、行動する」ことを日々の勉強に活かして、少しでも得意を伸ばしたり、苦手を減らしたりしてほしいと思っています。

いよいよよまよめの時期となります。今後ともご協力くださいますようお願いいたします。



国際的な姉妹校交流

1月9日（火）から12日（金）までの3泊4日、教員7名・保護者8名・児童24名が台湾北成國民小學訪問交流に行ってきました。旅行中は天候にも恵まれ、大きなハプニングもなく、メンバー全員は元気に過ごすことができました。

1日目と4日目は移動日でしたが、印象深かったのは、子供たちが、飛行機内で離陸や着陸するときの体感に一喜一憂したり座席に装備されている液晶モニターで映画鑑賞やゲームを楽しんだりしていたことです。また、英語で機内食を聞かれたとき、英語で受け答えをしていた姿にも感心しました。外国語活動などで学習した成果を実践できた瞬間でした。

2日目は、北成小で歓迎会が行われ、学習や給食を体験しました。報道機関も来校していましたが、元気な声で台湾語の挨拶をしたり北成小のサポート児童と交流したりして、楽しく有意義な時間を過ごしていました。お土産もたくさんいただきました。

3日目は、台北市内の観光をしました。大きな建造物や広い敷地に驚いたり日本との文化の違いに気付いたり、たくさんの発見がありました。そして、外国の貨幣を使ってショッピングも楽しみました。

この4日間は、台湾の文化や言語などに触れ、グローバルな視野を広げるよい機会となりました。また、日本のよさも改めて実感することができました。



太陽っ子のがんばり

■ほんわかハート展

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 【作文部門】（低学年の部） | 最優秀賞：石倉 蓮（3年） |
| （高学年の部） | 最優秀賞：福島丈太郎（6年） |
| | 優良賞：田中凜優（4年）、田中龍翔（5年） |
| 【絵画部門】（低学年の部） | 優良賞：苔米地奈桜（1年）、ブラウン仁菜（4年） |
| 【ポエム部門】（低学年の部） | 優秀賞：櫻庭史陽（1年）、優良賞：太田有咲（2年） |
| | 佳 作：薄井俐人（2年） |
| （高学年の部） | 佳 作：薄井鞍人（4年） |
| 【書道部門】（低学年の部） | 優秀賞：一戸亮太（1年）、優良賞：岡田冴結子（2年） |
| （高学年の部） | 優良賞：上原子璃乙（5年） |
| 【写真部門】（低学年の部） | 佳 作：佐藤 悠（3年） |
| （高学年の部） | 最優秀賞：對馬佳吾（4年）、優良賞：佐藤凜佳（6年） |

■第6回「農業に関する川柳」

- 最優秀賞：沢目雪白紗（5年）
優秀賞：齊下智貴（5年）、野月龍杏（6年）、岡田歩結子（6年）、渡辺碧月（6年）
佳 作：花形愛琉（5年）、縄田柚羽（5年）、大平晃輔（6年）、中野愛奈（6年）、蛭名愛莉（6年）

■2023 子どもの「科学の夢」絵画展

- 奨励賞：高屋瑛麻（3年）、入選：角田叡斗（1年）、小松 葵（3年）、櫻庭永陽（5年）

■第65回青森県発明くふう展

- 東北経済産業局長賞：佐々木愛謝（4年）、青森テレビ賞：青木聡佑（3年）
奨励賞：松坂謙芯（6年）、畑山 宝（6年）、前川原蒼太（6年）